

平成27年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南城市		事業名	計画期間	事業概要		H27成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H27活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
バ	細							
1		世界遺産「斎場御嶽」周辺整備事業	H24 ～ H27	世界遺産「斎場御嶽」周辺地は琉球王国時代の歴史的遺産を今日まで残す貴重な地域であるが、一部石畳参道が大雨による影響で崩壊し危険な状況である。そのため本事業により石畳参道やウロカーとよばれる拝所等を整備し広く一般公開することにより、世界遺産「斎場御嶽」の更なる魅力を伝え、観光客等誘客促進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>石畳参道整備 L=96.5m</li> <li>木製階段設置 L=55m</li> <li>サイン設置 8基</li> <li>概要版冊子 10,000冊</li> </ul>	国の重要文化財(史跡、戦争遺跡)指定に向けた復元整備	事業終了後は、琉球王国時代のウロカーや石畳参道、戦争遺跡を世界遺産「斎場御嶽」の周辺巡検ルートとして公開し、歴史・平和学習の場として活用を図る。また、当文化財を国指定史跡への追加指定を目指す。	
		スポーツツーリズム推進事業	H24 ～ H30	本市陸上競技場はスポーツキャンプ等が数多く開催されており、観光客等の誘客促進及び青少年の健全育成を図るため、天然芝の良質な状態を保持・管理する人材を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>芝生管理人の雇用(1人)</li> <li>芝生管理に精通した人材の育成</li> <li>良質な状態での芝生の維持管理</li> </ul>	サッカーキャンプ等の受け入れ (3チーム)	芝生管理人を継続雇用しながら、芝生を良質な状態で維持管理していき、引き続きプロサッカーチームのキャンプを受け入れていく。 プロサッカーチームのキャンプ等の受入を継続していくことにより、観光の閑散期である冬場に市内の宿泊施設などの利用増が見込まれる。	
		観光交流サイン整備事業	H25 ～ H29	来訪者にとってわかりやすい誘導案内や周辺案内、解説板、名称板等のサインを整備することにより、スムーズな案内誘導を進めるとともに都市景観の向上や、歴史文化遺産の顕在化と魅力の充実、市民と来訪者との交流促進、観光の振興を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路愛称板の設置工事:10箇所</li> <li>観光等誘導案内板の整備:10箇所</li> <li>(集落域文化遺産サイン整備事業)</li> <li>サイン整備調査委託業務完了:15箇所</li> <li>サイン設置工事完了:2箇所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(道路愛称版の設置)</li> <li>来訪者の円滑な誘導に資する。</li> <li>(観光等誘導看板の設置)</li> <li>カーナビゲーションの情報のみ頼らない景観に配慮した情報を配信することにより来訪者に対するサービスの向上が図られる。</li> <li>(集落域文化遺産サイン整備事業)</li> <li>来訪者の文化遺産への理解や到達の利便性の向上</li> <li>地域住民の地元にある歴史文化遺産の再認識、活用</li> <li>市民と来訪者の歴史文化遺産を通しての交流促進</li> </ul>	(今後の展開) 集落文化遺産サイン整備 H28年度～H29年度:整備計画に基づき、集落単位でサイン整備を行う。 サイン整備により来訪者の利便性を高めるとともに、同時に整備を通じて住民自らが地元の歴史や文化遺産を再発見し、次世代へ伝えていく。	
		デマンド交通実証実験事業	H24 ～ H27	デマンド交通の運行実施計画案(H24策定)に沿って、試験運行(H25～H27年度)を実施しながら、必要車両台数、運行時間の分析と既存交通機関との連携等について検討し、南城市型の交通システムの確立を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域公共交通会議の開催:3回</li> <li>実証実験実施(有償運行)</li> <li>運行期間:H27.4～H28.3</li> <li>利用者アンケート等による検証</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>乗車人数(1日):100人</li> <li>運行時間や必要車両台数など、本格運行に向けた運行形態の把握</li> </ul>	H28年度:実証結果に基づき本格運行を実施	

H27活動目標(指標):平成27年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H27成果目標(指標):平成27年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成27年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南城市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H27成果目標(指標)	備考	
バ	細				H27事業内容	H27活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
			尚巴志活用マスタープラン実施事業	H26 ~ H30	平成25年度で策定された「尚巴志活用マスタープラン」を実施する事業である。尚巴志の普及、尚巴志スピリットの育成、エコミュージアムの基礎を築き、文化資源を活用した観光振興、地域振興を図っていく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 尚巴志の普及・啓発・情報発信                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・「紙芝居学校アウトリーチ」</li> <li>・市内小学校9校(回)</li> <li>・「文化講演会」1回</li> </ul> </li> <li>2. 地域興しの人材育成                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・「尚巴志の語り部育成事業」</li> <li>・ワークショップ7回</li> </ul> </li> <li>3. エコミュージアムの創造                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・「グスク巡りコンサート」</li> <li>・市内国指定史跡4箇所(回)</li> <li>・「地域孫会議事業」</li> <li>・市内国指定史跡所在地区</li> <li>・公民館4箇所(回)</li> <li>・「琉歌募集事業」</li> <li>・市内中学校5校(16回)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 尚巴志の普及・啓発・情報発信                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・「紙芝居学校アウトリーチ」</li> <li>・市内小学校9校4年生:460名(久高小は全児童)</li> <li>・「文化講演会」</li> <li>・目標客数:100名</li> </ul> </li> <li>2. 地域興しの人材育成                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・「尚巴志の語り部育成事業」</li> <li>・参加者10名</li> </ul> </li> <li>3. エコミュージアムの創造                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・「グスク巡りコンサート」</li> <li>・合計観客動員数:200名</li> <li>・「地域孫会議事業」</li> <li>・参加者30名</li> <li>・「琉歌募集事業」</li> <li>・応募者数:150首</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 尚巴志の普及・啓発・情報発信                     <ul style="list-style-type: none"> <li>H28～30年度:尚巴志グッズの開発、尚巴志副読本の発刊、尚巴志まつりの実施</li> </ul> </li> <li>2. 地域興しの人材育成                     <ul style="list-style-type: none"> <li>H28～30年度:海外派遣、地域デザインと人材配置、実践事業</li> </ul> </li> <li>3. エコミュージアムの創造                     <ul style="list-style-type: none"> <li>H28～30年度:デジタルミュージアム作成、マーケティング</li> </ul> </li> </ul> <p>H30年度事業完了時、「尚巴志」への認知度・愛着が高まり共通の知識を獲得、市民それぞれが情報を発信していくことで南城市の知名度がアップ、人気が高まり観光客が増える見込み。</p>	
			観光振興将来拠点整備事業	H25 ~ H29	本県南部地域及び本市の体験交流・滞在型観光の促進等、新たな観光振興に向け、空港や沖縄自動車道、那覇市からの交通アクセスが大きく改善され南部東道路IC周辺地において、公共駐車場や観光情報施設、台風等の災害時における、観光外来者等の避難の為に防災センターの整備を行うと共に、民間の観光施設(宿泊施設・レンタカー営業所)の誘致、各種イベント等との連携を強化し、観光交流拠点の形成を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光振興将来拠点整備にむけた実施設計委託業務の実施</li> <li>・観光拠点地として整備する用地取得の交渉(最終年度)用地:30,000㎡購入予定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H28年度の造成整備に向け実施設計の完了</li> <li>・次年度以降の造成工事に向け用地取得の完了</li> </ul>	<p>H28年度以降に造成整備(面整備)収容台数 2,000台</p> <p>事業完了後は、本市が掲げる「見る観光」から「感じる観光」への転換を目指し、事業完了年度に於ける本市主要観光施設利用者数を基本に、対前年度1%増を目指す。</p>	
			世界遺産「斎場御嶽」ガイダンス施設整備事業	H26 ~ H27	世界遺産斎場御嶽を3Dデータとして整備し、既存施設「がんじゅう駅・南城」及び「緑の館セーファ」を活用し「斎場御嶽ガイダンス施設」として再整備する。 斎場御嶽の現状をデジタルデータ化することで、斎場御嶽へ入域出来ない観光客へのサービスの向上と災害時の復旧に寄与する。又、歴史的な背景をビジュアル的に演出することにより、斎場御嶽にまつわる伝説や信仰を、“ものがたる”ことによって、本市を起点とする県域観光の促進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・備品購入の実施</li> <li>・固定式</li> <li>・プロジェクター3台、スクリーン3機、音響機器3式、パソコン3台、チャア76脚、チェアポータ3台</li> <li>・移動式</li> <li>・プロジェクター1台、スクリーン1機、音響機器1式、パソコン1台</li> <li>・施設内装設計・工事の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備が完了し、運用を開始することにより斎場御嶽をはじめ県内世界文化遺産の文化的価値の発信力を高める体制を整える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業完了後は斎場御嶽ガイダンス施設の運営を行い、斎場御嶽の文化的価値への理解促進と斎場御嶽とともに、その舞台となった本市の美しい自然をPRすることで自然を資源とした観光促進を目指す。</li> </ul>	

H27活動目標(指標):平成27年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、  
H27成果目標(指標):平成27年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成27年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南城市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H27成果目標(指標)	備考	
バ	細				H27事業内容	H27活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
			地域Wifiネットワーク整備事業	H27 ~ H29	市内の観光スポットを中心に無線ネットワーク機器(アクセスポイント)を設置することで地域無線インフラの構築を行う。構築後は観光ポータルサイトの連動により観光情報の発信を強化し、外国人をはじめとした観光客の満足度及び周遊性の向上を図る。	・観光ホスピタリティの向上及び観光客の周遊性向上にむけた地域wifi整備計画の検討 ・無線アクセスポイントの整備(8カ所)	・地域wifi整備計画の策定 ・無線アクセスポイントの整備完了 ・観光ポータルサイトを利用した観光情報のプッシュ型配信による施設案内の充実	構築後は観光ポータルサイトとの連動により観光情報の発信を行い、斎場御嶽のみではなく、市内の観光スポット等の紹介を行うことで、外国人をはじめとした観光客の満足度及び周遊性の向上を図る。  H28年度~H29年度 ・実施計画に合わせて無線アクセスポイントの増加を行う。	
			南城市産商品販売力及び観光PR強化事業	H27 ~ H29	関東や関西の大都市圏や、国外で開催される全国物産展や祭り等で、南城市産の商品や観光資源を情報発信すると共に、プロスポーツのキャンプや公式戦誘致によるスポーツツーリズムの推進を行う。また、集客のツールとして、南城市公認キャラクターの上記物産展への同行や、南城市オリジナルノベルティグッズの制作を行い、“受け身”でなく“働き掛け”の観光客誘致活動を行う。	・関東や関西の大都市圏で開催される全国物産展への出店(年2回以上) ・南城市ノベルティグッズの制作(年2種類以上) ・プロスポーツキャンプや公式戦の誘致活動(年1回以上)	・都市圏での物産展参加による南城市や市産商品の認知度の向上 ・オリジナルノベルティグッズを制作し、配布することにより南城市のイメージを広く長く発信 ・プロスポーツのキャンプや公式戦誘致によるスポーツツーリズムの推進。	・観光客誘客を図るため、プロスポーツキャンプ等誘致活動を継続的に開催する。 ・29年度までにプロスポーツキャンプ等の受入実績の増加を目指す。(1件(基準年度:26年度) 6件)	
			観光交流・防災機能拠点整備事業(ムラヤー構想)	H25 ~ H28	住民と観光客との交流拠点や防災機能拠点施設として整備し、地域の伝統芸能継承、青年会活動などの多様な活動を推進し、観光振興を図る。	南城市知念地区におけるムラヤー建設にむけた基本・実施設計の実施	・H29年度の供用開始に向けた事業の着実な実施(基本・実施設計委託業務の完了)	(今後の展開方針) H28年度建築工事着手 H29年度:体験交流施設の供用開始完成後は、地域の観光資源を活用した観光客の誘客による地域の活性化を図る。(目標利用者:500名)	
2			平和発信プロジェクト事業	H24 ~ H30	戦後70年が経過し、沖縄戦の記憶が薄れている中、改めて市民一人ひとりが平和や命の大切さを考える機会として、南城市独自で制定した平和の日(8月10日)に劇の上映、またイベントを開催する。	・劇の上演1回・イベントの実施1回 ・ワークショップ開催3回 ・ハートのまち宣言策定	・劇の上演・イベントの開催 延1000人 ・市民参加のワークショップの開催により、市民の平和への意識の向上 ・ハートのまち宣言策定により、市民の平和への意識の向上	平和な社会の実現を図るため、市内外へハートという市のブランドと共にオンリーワンの形発信するイベントを継続的に開催する。 市民一人ひとりが平和について考え、語り合い、行動できるよう平和への意識を高める。	
3			蔬菜花卉園芸施設整備事業	H24 ~ H28	強風等自然災害による被害を軽減し、農作物の安定生産が図れる施設栽培を奨励するため、既存施設の強化及び防風壁導入を支援する。	既存の農業用施設強化及び防風壁設置を支援	既存の農業用施設等の整備(10ヶ所)	自然災害による被害軽減のため施設を継続して整備する。 ・施設の整備5ヶ所(H28年度) ・定時、定量、定品質の農作物の出荷による農家所得の安定	

H27活動目標(指標):平成27年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H27成果目標(指標):平成27年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成27年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南城市		事業名	計画期間	事業概要		H27成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H27活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
		漁港巻上機 施設機能強化事業	H24 ～ H27	水産業の振興を促進するため、台風時において、船の避難をスムーズに行うため巻上機施設の機能強化を実施する。	巻上機の設置:3基 (海野漁港板馬地区・知念船溜まり・具志堅船溜まり)	・漁獲量を向上するための機能強化 ・漁業基盤の整備	H28年度供用開始 台風等荒天時に速やかに陸上避難が行える。また、漁船の修理等陸上作業がスムーズに行える。	
		耐候性野菜栽培施設整備事業	H27 ～ H29	定時・定量・定品質の農作物出荷を行うため、気象条件に生産量を左右されにくい耐候性ハウスを整備し、農家の経営安定及び産地の形成を図る。	耐候性ハウスの整備を支援	耐候性ハウスの整備(10000㎡ 約30棟)	出荷量安定及び産地形成のため、耐候性ハウスを継続して整備する。 H28 6000㎡ H29 6000㎡	
		つくり育てる漁業振興支援事業	H26 ～ H27	獲る漁業からつくり育てる漁業への転換を目指し、養殖業を取り巻く課題解決に向けた対策を支援することで、水産業の振興を図る。	養殖業者への支援	品質向上の強化 モズク網干し柵の設置(1基)	設置後は、販路拡大に向けた品質の向上に繋げていく。	
4		消防救助艇・牽引車両整備事業	H27	海や川に関する事故・災害等が起こった場合に、迅速かつ確実に対応するため必要な装備を整備し、消防力の強化に繋げ住民や観光客の安心安全を確保する。	消防救助艇:一艇 牽引車両及びトレーラー(各一台)	水難救助体制の機能強化	消防救助艇・牽引車両及びトレーラーを整備することにより、市町民や国内及び国外からレジャーを楽しむために訪れる人々に安心・安全を与える地域を目指す。	
5		幼小中学校学習教室空調設備整備事業	H24 ～ H27	児童・生徒の感受性豊かな人格形成を図るため、夏場においても、安全・快適な学習環境を保持できるよう空調設備を整備する。	冷房設備の設置 ・大里南幼稚園保育室2台	夏場における安全・快適な学習環境の整備	夏場における安全・快適な学習空間が整い、児童・生徒の学力向上に大きく寄与することが見込まれる。	

H27活動目標(指標):平成27年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H27成果目標(指標):平成27年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成27年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南城市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H27成果目標(指標)	備考	
パ	細				H27事業内容	H27活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
			小中学校パソコン機器整備事業	H25 ~ H29	学校教育振興に資する学校教育用パソコンを小・中学校へ導入することで、児童・生徒がICTを活用する上で必要な知識・技能の習得や、また、様々な教科の中でICTを活用した学習活動に取り組むことにより、情報化社会に即応する技能を身につけた人材の育成を図る。	・市立玉城小学校コンピューター教室パソコン機器41台、他周辺機器一式整備 ・市立百名小学校コンピューター教室パソコン機器39台、他周辺機器一式整備 ・市立大里北小学校コンピューター教室パソコン機器36台、他周辺機器一式整備	パソコン教室：パソコン機器等一式整備 ・小学校低学年：パソコンに興味関心を引き出す ・小学校高学年：パソコンの基本操作の習得、各教科の調べ学習の向上 ・中学生：パソコンの技能の習得	・市立小中学校14校PC教室パソコン機器等一式を年次的に整備 H28年度：2中学校整備 H29年度：2小学校整備 ・児童・生徒がICTを活用する上で必要な知識・技能の習得 ・様々な教科の中でICTを活用した学習活動に取り組むことで、学力の向上を図る	
			学習支援員配置事業	H25 ~ H29	通常の授業についていけない児童・生徒への学習支援等を目的として、学級担任等の補助者として学習支援員を配置し、対象児童・生徒の習熟の程度に応じた指導や、一人ひとりの学習の定着状況に基づいたきめ細かな指導等、個々の実態に応じた学習支援を行う。	・市立8小学校へ学習支援員8名配置(支援児童数294名：支援員1名当り週35時間授業支援を行う。1授業当たり3名程度の児童を支援する。) ・市立4中学校へ学習支援員4名配置(支援生徒数135名：支援員1名当り週35時間授業支援を行う。1授業当たり3名程度の生徒を支援する。)	・学力到達度調査において無回答率の縮小 小学校 算数 3.0ポイント(0.6ポイント改善) H26年の無回答率 3.6ポイント H26県平均の無回答率 4.3ポイント 中学校 数学 12.0ポイント(0.7ポイント改善) H26年の無回答率 12.7ポイント H26県平均の無回答率 14.9ポイント	H33年度まで事業を継続し、当該調査の無回答率を0に近づける。	
			特別支援教育・障害児ヘルパー配置事業	H25 ~ H29	学校教育法において、障害のある児童生徒等の教育の充実を図るため、小・中学校等に在籍する教育上特別の支援を必要とする児童生徒等に対して、適切な教育(特別支援教育)を行うことが明確に位置付けられ、それにより、障害のある児童生徒等の受入れ機会が増加しているところであります。そのため、幼・小・中学校へ特別支援教育支援員や障害児ヘルパーを配置し、担任教師と連携の上、適切な特別支援教育を行う。	・市内5幼稚園へ障害児ヘルパー(保育)9名(対象園児13名) ・市内8小学校へ特別支援教育支援員1名、障害児ヘルパー25名配置(対象児童69名) ・市内4中学校へ特別支援教育支援員1名、障害児ヘルパー5名配置(対象生徒13名)	・学習や学校生活面においてのサポート体制を強化し安心して学べる学習環境の構築 ・幼児・児童・生徒個々の特別支援教育支援員・障がい児ヘルパー活用報告書の作成(年2回)	平成28年度～29年度 ・特別支援教育支援員・障害児ヘルパー配置 ・障害のある幼児・児童・生徒の自立や社会参加を促し、「生きる力」を育成する	
6			なんじょう歴史文化保存継承事業	H24 ~ H33	本市では神の島「久高島」や世界遺産「斎場御嶽」、国指定文化財「グスク等」の多くの歴史遺産、琉球王朝時代から引き継がれた精神文化が今も数多く残る地域である。これら貴重な文化遺産を後世に引き継ぐことを目的になんじょう歴史文化保存継承事業を実施する。	・『御嶽・グスク編』原稿作成、情報収集、専門委員会の開催、調査 ・『資料集戦争』情報収集、調査 ・『民俗』情報収集、調査、専門委員会等の開催 ・専門委員会議の実施回数 御嶽・グスク 5回(原稿完了むけでの検討) 資料集戦争 5回(調査報告) 民俗小委員会 5回(調査報告、方針決定等) 民俗 12回(調査報告)	・『御嶽・グスク編』刊行に向けた原稿作成の完了 ・『資料集戦争』刊行に向けた情報収集、調査の完了 ・『民俗』刊行に向けた方針決定、調査個票の作成	(今後の展開) H28年度：『御嶽・グスク編』刊行 H28年度～H33年度：『民俗』調査、情報収集、整理 H29年度：『資料集戦争』原稿作成 H30年度：『資料集戦争』刊行	

H27活動目標(指標)：平成27年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H27成果目標(指標)：平成27年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成27年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南城市		事業名	計画期間	事業概要		H27成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H27活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
		文化センター機能強化事業	H25 ~ H29	本市における地域伝統文化及び市内イベントの拠点として文化芸術創造の発信を行っている文化センターの機能強化を図るため、床面や付属設備などの整備を行う。	・使用の促進にむけた床面 85.2㎡)及び座席シート 510席)の張替などの工事 ・多彩な演目の対応にむけたグランドピアノ(1台)の購入	・事業実施によって、より多面的な施設の使用による活用の促進 ・グランドピアノの購入により、施設使用者による多彩な公演の促進につなげる	(今後の展開) H28年度:備品等購入 H29年度:備品等購入 ・文化芸術創造発信の拠点として活用 ・県内唯一の音楽専用ホールとしての活用を促進 ・文化芸術のさらなる発展への寄与	
		文化のまちづくり実行委員会支援事業	H24 ~ H33	地域伝統文化の継承及び観光振興を図るため、南城市文化センター・シュガーホールを拠点に、音楽や演劇の公演、バックステージ講習、ボランティア育成事業等の各種公演、研修事業を実施する。	第21回おきでんシュガーホール新人演奏会(1回) シュガーホール発!!地域めぐり出前ステージ(6回) 10th' Jazz in Nanjo(1回) 学校めぐり出前授業(市内9小学校)	第21回おきでんシュガーホール新人演奏会 400名 シュガーホール発!!地域めぐり出前ステージ 1,150名 10th' Jazz in Nanjo 500名 学校めぐり出前授業 480名	(今後の展開方針) シュガーホールを拠点とした多彩な事業を展開し、クラシック音楽のみではない多様な文化芸術創造の場として活用していく。	
7		健康づくり支援調査検証事業	H25 ~ H28	市民の健康づくりを支援するため、健康教室等の開催及び児童生徒生活習慣病予防健診等を実施するとともに、その効果等について調査検証する。	・講演会、健康体操等の実施 34回 ・中学生を対象とした健康調査及び保健指導の実施	・講演会、健康体操等の実施後に、アンケート調査等を行い、事業効果を評価検証し、市民の健康増進意識の向上を図る ・中学生(約500名)を対象とした血液検査を実施・検証し、その結果返しの中で、親子へ保健指導を行い、生活習慣病予防意識の向上を図る	(今後の展開方針) H28年度も引き続き事業効果を検証しながら市民の健康づくりを支援する。健康づくりに無関心な層や未受診者へ、行政・地域・学校等からのアプローチで市民の健康への意識を高める。	

H27活動目標(指標):平成27年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H27成果目標(指標):平成27年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。